

# ジェイアールバス東北本部

第39号

2021年6月11日

〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡1-4-3 JR東労組仙台地方本部内  
NTT:022-297-0155 JR:031-3981~3983  
発責：佐藤 秀一 編集：情宣部

## 夏季手当を求める組合員の切実な声!!

## これが組合員の声だ!!②

- ・会社の経営状況を考え、職場からできることとして燃料の節約に取り組んでいる。
- ・燃料の節約、エコドライブ等に努めている。
- ・貸切バスの仕事が増えるよう頑張る。
- ・生活を守りたい。一人ひとりが節約運動に参加し実績を積み上げ、社員として頑張っていく。
- ・支給してくれればアフターコロナでの業績回復まで会社存続のため頑張る。
- ・モチベーションが上がるようなことをして欲しい。
- ・経費削減と言うなら、苦勞している転勤者のことを考えてほしい。
- ・二重生活なのでボーナスを当てにした生活をせざるを得ない。
- ・会社の維持・存続のためには、社員が必要である。稼ぎ手がいなくなれば稼ぐことすらできなくなる。
- ・コロナ禍だとしても人への投資は必要。アフターコロナを見据え、社員を抱え込むべき。
- ・夏が少なければ冬もどうなるのか。転職も考えなければならない。
- ・ボーナスで生計たてているのに、こんなじゃ生活できない。
- ・本気で黒字化目指すなら今出すべき！人材流出を防ぐ為にも人への投資を！
- ・ジェイアールバスに憧れて入社した社員も多いが、労働単価にあっていない会社施策により退職する人も増えている。社員が退職していかない様な会社に向かって行って欲しい。
- ・将来が不安でしかたがない。家族のため今回の結果で覚悟決める。
- ・このままでは家族を養えない。夏季手当次第で転職を考えなければならない。
- ・もう会社にも何も期待しない。会社も社員に期待しないで欲しい。将来を考え転職を考えている。
- ・若い人材が退職する会社に未来はない。必要ある先行投資で社員を辞めさせないことが最優先である。

要求実現に向けて全組合員団結し、職場からたたかいをつくり出そう!!